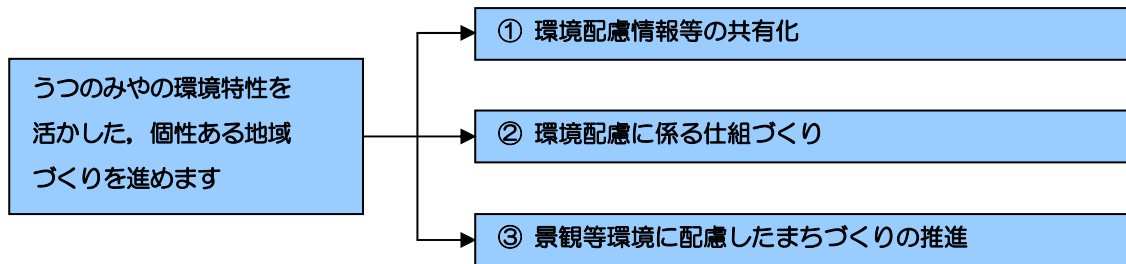


第4章

市民みんなの協働でつくる人と環境にやさしいまち

1 環境配慮対策

(1) 環境目標と施策の方向



(2) 概況

本市は、中心部に商業・業務機能が集積した中心市街地が形成され、それを取り囲むように住宅地が展開し、さらにその外周を農地や樹林地、河川などの田園・自然環境が取り囲むという同心円状の都市構造を形成してきました。

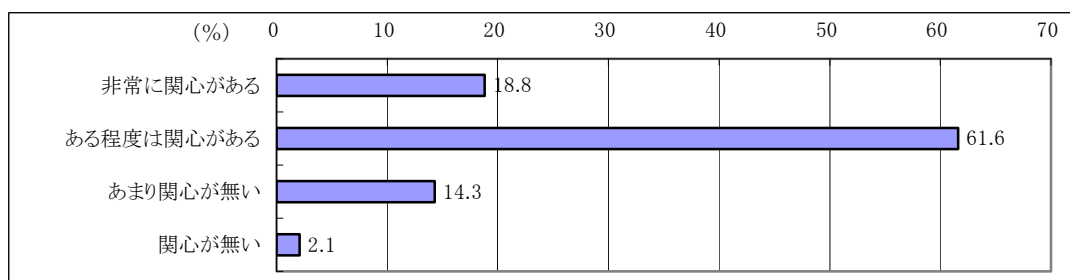
近年は、都市化の進展により、市街地は放射状に伸びる主要幹線道路沿いに拡大しており、市街地周辺部では、豊かな自然環境を保全しながら主に農林業の振興の場としての土地利用を図り、市民の憩いの場やレクリエーションの場としての有効活用が期待されています。

平成16年度に実施した市政世論調査では、街並みや風景への関心について、「非常に関心がある」人は約2割、「ある程度関心がある」人は約6割となっており、両者を合わせると関心のある人は約8割となっていました。

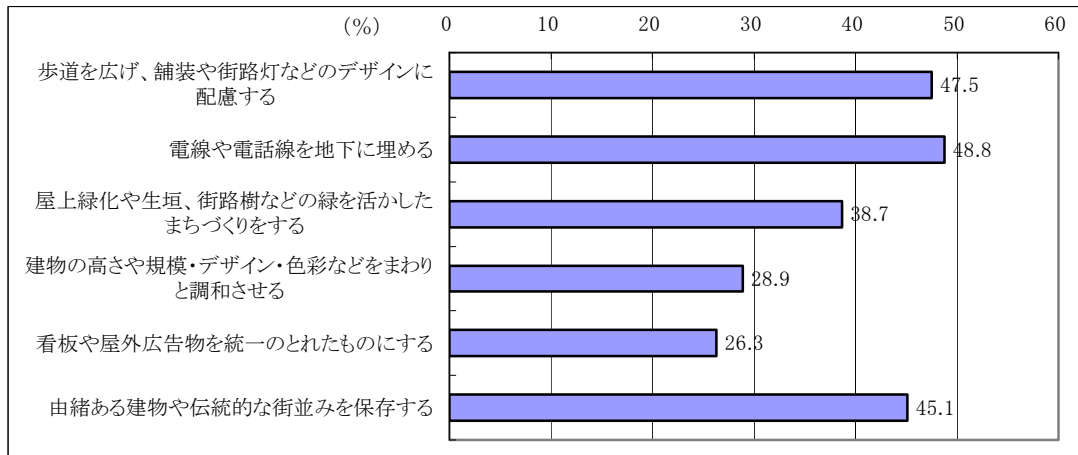
このような中、「家庭版環境ISO認定制度」など、市民の主体的な環境配慮行動の促進に取り組んでいますが、家庭版環境ISOの認定家庭数やもったいない宣言の家庭数については、目標値との差が大きい状況にあります。

■第37回市政世論調査より

宇都宮の街並みや風景への関心について



宇都宮の街並みや風景を魅力あるものにするために重要なこと（3つまで）



平成19年度 まちなみ景観賞



◆景観賞◆
アクタス 宇都宮店



◆景観賞◆
栃木信用金庫 桜通り支店



◆景観賞◆
Bakery PENNY LANE
(ベーカリー ペニーレイン) 宇都宮店

(3) 数値目標の達成状況

環境指標		担当課
①家庭版環境ISOの取組家庭を増やします。		環境政策課
15年度(基準)	認定家庭(201)	
16年度	認定家庭(122)	平成15年度比(122家庭の増) 累計(323家庭)
17年度	認定家庭(76)	平成15年度比(198家庭の増) 累計(399家庭)
18年度	認定家庭(99)	平成15年度比(297家庭の増) 累計(498家庭)
19年度	認定家庭(149)	平成15年度比(446家庭の増) 累計(647家庭)
	評価	<input type="checkbox"/> 目標年度の数値を達成している <input type="checkbox"/> 目標年度に向け順調に進んでいる <input checked="" type="checkbox"/> 今後一層の努力を要する
24年度(目標)	2,000家庭の増加	

※数値は旧宇都宮市対象

環境指標		担当課
②もったいない宣言の宣言家庭数を増やします。		環境政策課
15年度(基準)	0世帯(制度創設前)	
16年度	0世帯(制度創設前)	
17年度	0世帯(制度創設前)	
18年度	0世帯(制度創設前)	
19年度	1,533世帯(平成19年8月1日に制度創設)	
	評価	<input type="checkbox"/> 目標年度の数値を達成している <input type="checkbox"/> 目標年度に向け順調に進んでいる <input checked="" type="checkbox"/> 今後一層の努力を要する
24年度(目標)	15,000世帯	

※数値は旧宇都宮市対象

(4) 環境施策の取組状況

①環境配慮情報等の共有化

取組名	概要	担当課
環境配慮指針の推進	日常生活や事業活動における環境負荷の低減を図るため、「環境配慮指針」に基づき、市民や事業者の環境に配慮した行動を誘導・促進します。	環境政策課
取組状況		
「市民の環境配慮行動の促進」	家庭版環境ISO認定制度の推進 ※リーディングプロジェクト「環境マネジメントシステム推進プロジェクト」に記載	
「事業者の環境配慮行動の促進」	事業所版環境ISO認定制度の創設 ※リーディングプロジェクト「環境マネジメントシステム推進プロジェクト」に記載 開発事業者への啓発 土地利用等の申請時に環境配慮の措置を講ずるよう要請 温泉掘削、土砂等埋立て、砂利採取など27件	

②環境配慮に係る仕組づくり

取組名	概要	担当課
土地利用に関する大規模開発事前指導	大規模土地利用を行う開発業者に対し、「栃木県土地利用に関する事前指導要綱」に基づき、適正な土地利用の指導や個別法との一体的な調整を行います。	地域政策室
取組状況		
「適正な土地利用の指導、個別法との調整」の実施 平成15年度(4件) 平成16年度(1件) 平成17年度(3件) 平成18年度(3件) 平成19年度(1件)		

取組名	概要	担当課
開発許可制度の適正運用	開発事業の実施にあたり、緑化の推進や雨水の地下浸透など環境への配慮を行うよう、規制・誘導を行います。	都市計画課
取組状況		
「開発許可申請に関する指導要領等に基づく指導の徹底」 【許可申請受付件数】 平成15年度(241件) 平成16年度(355件) 平成17年度(431件) 平成18年度(502件) 平成19年度(499件)		

取組名	概要	担当課
地区計画制度の導入	良好な市街地の環境を形成していくために、地域の特性に応じて細街路、小公園等の宅地回りの施設と建築物の形態、敷地等に関する事項を一体的に定めることで開発行為、建築行為を誘導し、規制していくことで良好なまちづくりを行います。	都市計画課
取組状況		
平成元年度～ 豊郷台、石井・陽東ニュータウンなど14地区へ導入(約491.3ha) 平成15年度 市街地再開発事業への導入 二荒山神社前地区(約1.2ha) 平成16年度 市街地基盤整備事業への導入 陽東ベルモール地区(約13ha) 平成17年度 二荒山神社前地区において、高度利用地区指定に伴い建築物に関する事項を変更 平成18年度 宇都宮駅東口地区地区計画の決定 平成19年度 宇都宮駅東口地区地区における権利者との調整		

取組名	概要	担当課
交差点改良事業	交差点での右折車両によって発生する交通渋滞解消を図るため、交差点改良の整備(右折レーンの設置)を推進します。	道路建設課
取組状況		
平成15年度 西刑部町市道426号線 完了 平成16年度 田下町市道634号線 完了 平成17年度 該当事業なし 平成18年度 瓦谷町市道4660号線 完了 平成19年度 若草1丁目市道871号線 交差点協議		

取組名	概要	担当課
環境管理活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・市の事務事業における環境負荷の低減を図るため、市の施設においてISO14001を推進します。 ・児童・生徒の環境意識を育て、学齢期からの環境配慮行動をより一層促進するため、本市独自の「学校版環境ISO認定制度」を推進します。 ・環境配慮の取組を市域全体に広げ、活性化するため、本市独自の「家庭版環境ISO(みやエコファミリー)認定制度」を推進します。 ・事業所における環境配慮行動を促進するため、「事業所版環境ISO(ECOうつのみや21)」を推進する宇都宮商工会議所を側面から支援します。 	環境政策課
取組状況		
「市におけるISO14001」 「家庭版環境ISO認定制度」 「学校版環境ISO認定制度」の推進 「事業所版環境ISO認定制度」の創設		
※リーディングプロジェクト「環境マネジメントシステム推進プロジェクト」に記載		

取組名	概要	担当課
もったいない宣言の推進	3Rや地球温暖化防止を推進するため、より市民が日常生活において実践しやすいように身近で気軽な取組である「もったいない宣言」を推進します。	環境政策課
取組状況		
平成19年8月 制度創設 宣言家庭数 1,533世帯(新宇都宮市域⇒1,678世帯)		

③景観等環境に配慮したまちづくりの推進

取組名	概要	担当課
都心部道路景観整備事業	都心地区の持つ歴史や文化を生かしながら、ゆとりある歩行空間や楽しく回遊できる道路環境をつくるため、都心部道路景観整備事業を推進します。	道路建設課
取組状況		
平成15年度 市道3号線, 市道3382号線 電線地中化工事 平成16年度 市道53号線 舗装・照明工事 平成17年度 市道6号線 電線地中化工事 平成18年度 市道5,84号線 電線地中化工事 平成19年度 該当事業なし		

取組名	概要	担当課
景観計画の活用	景観法の制度の柱である「景観計画」により、市全域において大規模行為における規制・誘導を行い、今後は重点地区でのきめ細かな規制・誘導を行うことにより、本市の「顔」となる景観づくりを目指します。	都市計画課
取組状況		
平成19年度 「宇都宮市景観計画」の策定及び「宇都宮市景観条例」の制定(H20.1.1施行) 景観形成重点地区、景観形成推進地区の創設 大規模行為の届出件数(28件)		

取組名	概要	担当課
屋外広告物の規制誘導	屋外における広告物(野立て看板、広告塔、電柱広告等)について、屋外広告物条例に基づき許可制度の中で規制・誘導していきます。	都市計画課
取組状況		
「屋外広告物の新規・更新許可」における指導の実施 指導件数 平成19年度 新規許可(216件), 更新許可(417件) 「違反広告物簡易除却」の実施(平成19年度) ・市民ボランティア団体へ簡易除去を委嘱(12団体, 374名) ・市職員について、簡易除却の事務従事(6課2事務所, 161名) ・除去実績 17,312枚 「屋外広告物の登録」の実施 登録件数 平成19年度(47件) 累計(380件)		

取組名	概要	担当課
景観啓発事業	都市景観の資質の向上と景観に対する市民意識の高揚を図るため、「まちなみ景観賞」など景観啓発事業を推進します。	都市計画課
取組状況		
「まちなみ景観賞」の実施(平成19年度分) 制度概要 本市の魅力ある景観の創出に貢献した建築物等を表彰する。 選考方法 選考委員会(大学教授, 彫刻家, 建築家など7名) 写真選考後, 現地調査により決定 応募総数 180点(重複を除いた物件数141件) 選考結果 景観賞 アクタス 宇都宮 場所:砂田町6番地4 栃木信用金庫 桜通り支店 場所:桜2丁目7番地16 Bakery PENNY LANE 宇都宮店 場所:中岡本町3710番地 「うつのみや百景バスツアー」の開催(平成19年度:5月, 8月開催) 内容 ボランティア等による保護や維持についての説明 参加 40人(各20人)		

取組名	概要	担当課
放置自転車対策	円滑な道路交通環境と良好な都市美観を確保するため、放置自転車の撤去や駐輪場の整備、市民への啓発活動等を推進します。	道路維持課
取組状況		
「自転車放置防止の指導, 警告の実施」 ・自転車を放置しようとする者への指導, 駐輪場への誘導の実施 ・自転車放置者への警告の実施 「継続放置自転車の撤去」 平成15年度 撤去回数(144回) 撤去台数(5,976台) 平成16年度 撤去回数(146回) 撤去台数(5,386台) 平成17年度 撤去回数(138回) 撤去台数(5,252台) 平成18年度 撤去回数(140回) 撤去台数(5,073台) 平成19年度 撤去回数(147回) 撤去台数(4,871台)		

取組名	概要	担当課
散在性廃棄物対策の推進	地域環境の美化と快適な生活環境を確保するため、空き缶やタバコの吸殻等のポイ捨て防止など散在性廃棄物対策を推進します。	廃棄物対策課
「ポイ捨て防止横断幕の掲出」 強化月間(6月, 10月) 「ポイ捨て防止路面表示板の設置」 平成15年度(42箇所), 平成16年度(36箇所) 平成17年度 表示板の貼り替え(25箇所), 平成18年度(0箇所) 平成19年度(20箇所) 「空き缶等散乱防止対策協議会(6市6町)における啓発活動」 ポイ捨て禁止の呼びかけ, 啓発物品の配布等		

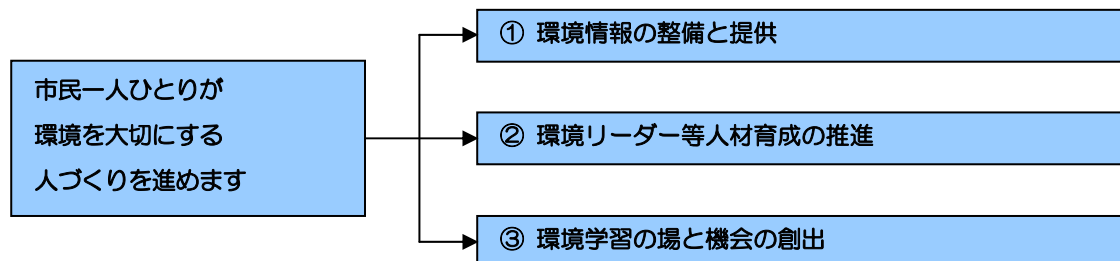
取組名	概要	担当課
動物の適正飼養の普及啓発	ペットブームなどにより、動物の飼養に係る苦情が後を絶たないため、動物の適正な飼養についての普及・啓発活動を推進します。	生活衛生課
取組状況		
「動物愛護推進員制度(平成15年度創設)」の推進 ボランティアとして、地域において動物の適正飼養と動物愛護の普及啓発を行う。 「動物愛護フェスティバル」の開催 参加(来場者) 8,500人 「普及啓発活動」 広報紙による啓発(12回) リーフレットの回覧による啓発(140自治会, 3,260班, 26,297世帯) 犬の正しい飼い方教室, 講習会の開催(5回, 参加者51人) 犬ねこの悩みごと相談の開催(4回, 71人)		

(5) 今後の取組

「家庭版環境ISO認定制度」の更なる取組世帯の拡大を図るため、イベントや出前講座などの各種周知啓発を強化していくとともに、認定家庭の特典の充実など、より魅力的な仕組みをつくり、一層の広がりを進めていきます。

2 環境教育・環境学習

(1) 環境目標と施策の方向



(2) 概況

今日の環境問題の発生要因の多くは、私たちの日常生活や事業活動に伴う環境への負荷が大きく起因しています。

このため、環境問題を解決するためには、一人ひとりが身近な地域や地球規模の環境について理解や関心を深めるとともに、環境を大切にする行動がとれる人を育むための「環境教育・環境学習」を進めていくことが重要になっています。

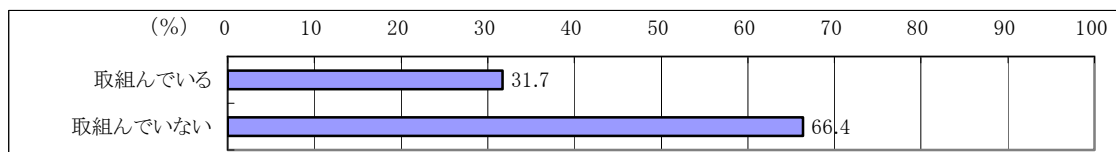
国においては、平成15年7月に「環境の保全のための意欲の増進及び環境教育の推進に関する法律」を制定し、環境教育・環境学習の推進や取組への意欲を高めるための各種施策を講じていくことを明確化しました。(平成15年10月一部施行、平成16年10月完全施行)

平成16年度に実施した市政世論調査では、「学習活動に取り組んでいる」人は約3割となっており、取り組んでいない人の今後の取組み意向は約6割となっていました。

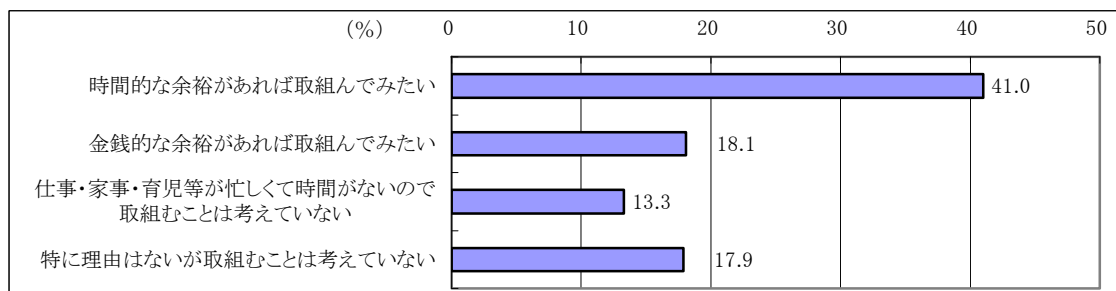
このような中、本市においては、環境学習センターをはじめ、生涯学習センターや地区市民センターにおける環境学習講座を開催したほか、環境出前講座や環境絵画・ポスターコンクールを開催し、各機会を通じた環境学習の推進しています。

■第37回市政に関する世論調査結果より

学習活動への取組状況について



取組んでいない人の取組意向について



参加・体験型環境イベント「環境 2007 宇都宮」

テーマ 「地球のために！今『もったいない』」 日 時 平成 19 年 9 月 30 日（日）
会 場 クリーンパーク茂原・環境学習センター 来場者 約 2,000 人



■屋外の様子



■ごみ分別ゲーム



■モバレンジャーショー



■ぼくはエコねこ（絵本）お披露目



■リサイクル講座作品展



■風呂敷包み体験

平成 19 年度 環境絵画・ポスターコンクール（最優秀賞）



小学校低学年の部
宇都宮市立岡本北小学校 1年 今 裕哉



小学校中学年の部
宇都宮市立今泉小学校 4年 竹本 一至



小学校高学年の部
宇都宮大学附属小学校 5年 桑野 泰地



中学校の部
宇都宮短期大学附属中学校 1年 大島 流花

(3) 数値目標の達成状況

環境指標		担当課
①環境学習センターで開催する環境講座等の参加者数を増やします。		環境政策課
13年度(基準)	27講座(62回) 延1,097名	
14年度	28講座(123回) 延1,978名	
15年度	26講座(139回) 延2,247名	
16年度	24講座(129回) 延1,918名	
17年度	32講座(144回) 延2,283名	
18年度	29講座(160回) 延2,530名	
19年度	46講座(206回) 延3,268名	
	評価	<input type="checkbox"/> 目標年度の数値を達成している <input checked="" type="checkbox"/> 目標年度に向け順調に進んでいる <input type="checkbox"/> 今後一層の努力を要する
22年度(目標)	増加を目指します	

(4) 環境施策の取組状況

①環境情報の整備と提供

取組名	概要	担当課
環境情報の整備と提供	市の有する環境情報を体系的に整理するとともに、市民に分かりやすく利用しやすい形で情報提供を行います。また、市、事業者、市民の環境情報のネットワーク化を促進します。	環境政策課
取組状況		
平成15年度 市ホームページ「うつのみやの環境」の開設 平成16年度～ 市ホームページ「うつのみやの環境」による環境情報の提供 うつのみや環境行動フォーラムにおける「うつのみや環境Uネット」の開設 ※リーディングプロジェクト「環境パートナーシップ推進プロジェクト」に記載		

取組名	概要	担当課
緑に関する活動拠点の強化	緑に関する情報などを積極的に提供し、人材育成や活動拠点としての緑の相談所の機能拡充を行います。	公園緑地課
取組状況		
「緑化講習会」の開催 「家庭菜園の作り方」、「ツツジ・サツキなどの上手な育て方」など延29回、1,267人参加 「移動緑化講習会」の開催 延21回、623人参加 「緑化相談受付」 受付件数 1,636件		

②環境リーダー等人材育成の推進

取組名	概要	担当課
野外環境学習活動の推進	自然体験を通じた環境学習を推進するため、「野外環境学習活動実行計画」に基づき、野外環境学習に関する情報提供、人材の育成等を行います。	環境政策課
取組状況		
「環境リーダーステップアップ研修」の開催 対象 森林ボランティア、緑化ボランティア、文化財解説ボランティア、自然体験活動指導者のうち、継続的活動を実践している人 内容 環境教育プログラム(講義・実習) 場所 冒険活動センター 実績 平成15年度(30人) 平成16年度(30人) 平成17年度(26人) 平成18年度(26人) 平成19年度(30人)		

③環境学習の場と機会の創出

取組名	概要	担当課
環境学習基本指針の推進	環境問題への正しい理解と認識を深め、環境保全のために行動する人を育てるため、「環境学習基本指針」に基づき、環境出前講座の開催、市民参加・体験型イベント環境フェアの開催、環境絵画・ポスターコンクールの実施、こどもエコクラブの推進など様々な環境学習の機会や場の提供を行います。	環境政策課
取組状況		
「環境出前講座」の開催 内容 「CO2ダイエット」、「水のよごれ」、「ちょっとわけあり買い物ゲーム」など7講座 実績 城山中学校、姿川まちづくり協議会など44回(1,975人受講) 「市民参加・体験型イベント 環境2007宇都宮」の開催 日時 平成19年9月30日(日) 場所 クリーンパーク茂原、環境学習センター 来場者 2,000人 内容 市制作絵本「ぼくはエコねこ」のおはなし会、環境スタンプラリー、リサイクルファッションショー等 「環境絵画・ポスターコンクール」の実施 部門 小学生(低・中・高学年)、中学生 最優秀(各1)、優秀(各2)、佳作(各5) 応募 705点 展示 東武宇都宮百貨店など7ヶ所実施、市のホームページ上に掲示 「こどもエコクラブ」の推進 支援内容 会員募集活動、活動キッド・ニュースレターの配布等 登録団体 平成15年度(20クラブ、418人) 平成16年度(20クラブ、784人) 平成17年度(11クラブ、495人) 平成18年度(12クラブ、365人) 平成19年度(7クラブ、260人)		

取組名	概要	担当課
環境学習センターにおける環境学習の推進	環境学習センターを本市の環境学習の拠点施設として位置付け、環境講座やセミナーなど環境学習事業を推進します。	環境政策課
取組状況		
「環境学習事業」の開催 廃油から石鹸作り、エコクッキング、自然観察会など206回(延3,268人) 「再生品(家具、自転車等)提供事業」の実施 展示数(357点)、申込数(3,850件) 「館内案内事業」の実施 団体見学(303団体、8,883人)、一般来館(10,393人) ※詳細はリーディングプロジェクト「環境パートナーシップ推進プロジェクト」に記載		

取組名	概要	担当課
里山、樹林地の保全 (長岡樹林地の保全)	市街化区域及びその周辺に残る良好な里山や樹林地を保全するため、緑地保全関係法令の適用、本市独自の緑地保全に関する制度の創設などの検討を行います。	公園緑地課
取組状況		
平成4年度 グリーントラストによる保全契約(活動)開始 平成12年度 グリーントラストによる一部買取りに向けた募金活動開始 平成14年度 自然環境基礎調査の実施 平成15年度 「長岡樹林地基本計画」の策定 平成16年度 都市緑地法に基づく「特別緑地保全地区」の指定に向けた方針決定 平成17年度 保全に向けた土地権利者調査 平成18年度 保全手法の再検討 平成19年度 保全手法の他市事例調査		

取組名	概要	担当課
都市緑地の保全 (戸祭山緑地、鶴田沼緑地)	市街化区域に残る貴重な里山である戸祭山緑地及び鶴田沼緑地を都市緑地として都市計画決定し、人と緑が共生する緑地として、用地取得及び整備を行います。	公園緑地課
取組状況		
【戸祭山緑地】 平成15年度 環境影響調査の実施、環境改善事業の実施(林床管理、池浚渫工事)、用地取得(3ha、累計13.4ha) 平成16年度 園路整備工事、用地取得(1ha、累計14.5ha) 平成17年度 園路整備工事、用地取得(1.6ha、累計16.1ha) 平成18年度 用地取得(1.3ha、累計17.4ha) 平成19年度 用地取得(1.6ha、累計19.0ha) (戸祭山緑地の概要) 都市計画決定 昭和63年度(都市緑地:都市公園事業) 都市計画面積 23.5ha 自然環境現状 宇都宮丘陵の骨格に位置する緑で、大きな変化を受けていない緑地 施設整備内容 散策路、木道、トイレ、ベンチ 【鶴田沼緑地】 平成15年度 環境影響調査の実施、環境改善事業の実施(林床管理、池浚渫工事) 平成16年度 環境改善整備(流入部汚泥処理)、樹林回復活動 平成17年度 環境改善整備、樹林地保全管理 平成18年度 環境改善整備、樹林地保全管理 平成19年度 環境改善整備、樹林地保全管理 (鶴田沼緑地の概要) 都市計画決定 平成12年度(都市緑地:都市公園事業) 都市計画面積 30.9ha 自然環境現状 宇都宮環状線の西隣に位置し、市街化区域内に残る貴重な緑地 施設整備内容 散策路、湿原内木道、教養施設、駐車場、トイレ等		

取組名	概要	担当課
市民団体等による緑地保全の促進	(財)グリーントラストうつのみや等の市民団体による樹林地管理や森づくりなどの緑地保全活動を支援し、市民主体の緑地保全活動を推進します。	公園緑地課
取組状況		
<p>1. 保全緑地活動の支援 … 平成19年度 市保有の保全緑地 計 187,600㎡ 下記の緑地については、(財)グリーントラストうつのみやに管理業務を委託し、保全を図っている。</p> <p>(1)鶴田沼緑地(81,000㎡) ・ 昨年から新たに16,000㎡の用地を取得 ・ ハッチョウトンボの棲む鶴田沼及び近隣雑木林の保全</p> <p>(2)戸祭山緑地(106,600㎡) ・ 昨年から新たに120,200㎡の用地を取得 ・ トウキョウサンショウウオの生息地であり、昔ながらの里山や沼地の保全</p> <p>2. 市民活動等の支援 市民主体の緑地保全活動のため、グリーントラストへの委託業務として、年10回の自然環境学習活動を実施した。 また、グリーントラストによる自然環境学習の自主活動及び市民参加事業等においても、適宜、必要な情報・ノウハウの提供を行った。</p>		

取組名	概要	担当課
生涯学習センター・地区市民センター等における環境学習の推進	生涯学習センター等において、環境問題を現代的課題や地域づくりの一環として捉え、これに関する講座を開催します。	生涯学習課 他
取組状況		
<p>「生涯学習センター」</p> <p>中央 ・市民大学 「『UNESCO世界遺産活動・寺子屋活動』って知っていますか！」 第5・10回(7人) ・金曜まなび塾 第1回「地球温暖化を考える～CO2ダイエット～」(42人)</p> <p>東 ・市民運営講座「ふれあい塾」 第3回「CO2ダイエット」(50人) ・東雲塾館外学習「日光の自然」(37人)</p> <p>南 ・高齢者現代セミナー 第10回「栃木の山の楽しみ方」(89人) ・自然体験教室「古賀志山で自然体験」(11人) ・親子チャレンジ教室 第6回「里山で遊ぼう」(24人)</p> <p>北 ・親子チャレンジ教室 第5回「自然観察と野外料理」(61人)</p> <p>上河内 ・環境セミナー「食と環境を考える」(22人) ・高齢者学級「ひばり」自然観察(丸沼高原)(24人) ・自然体験キャンプ「森のクラフト」(17人) ・男と女のさわやか講座「自然観察 那須の自然」(24人) ・野外観察会「自然観察会・日光」(40人)</p> <p>河内 ・女性学級「くらしの中の環境問題」(40人) ・子供週末活動支援「白沢散策と白沢公園野外観察」(15人) ・自然観察会(日光霧降高原)(21人)</p> <p>「地区市民センター」</p> <p>平石 ・「チーム・マイナス6%」講座 全2回 (63人) ・家庭教育セミナー「親子工作教室『森の夢工房』」(65人)</p> <p>清原 ・自然体験「親子遊び塾」 全8回 (47人)</p> <p>篠井 ・少年ふるさと教室「花のあるまちづくり探検事業」(202人)</p> <p>姿川 ・ふるさと教室「自然観察教室」(40名) ・親子体験団「環境わごん～草木染め～」(20名)</p>		

取組名	概要	担当課
宇都宮美術館自然観察会	宇都宮美術館周辺のうつのみや文化の森において、自然観察会を実施します。	文化課
取組状況		
<p>6月23日「竹であそぼう」 参加(43人) 9月22日 「バッタであそぼう」(49人) 12月1日「親と子の造形あそび」 参加(41人) 3月22日「里山の野鳥を観察しよう」 参加(22人)</p>		

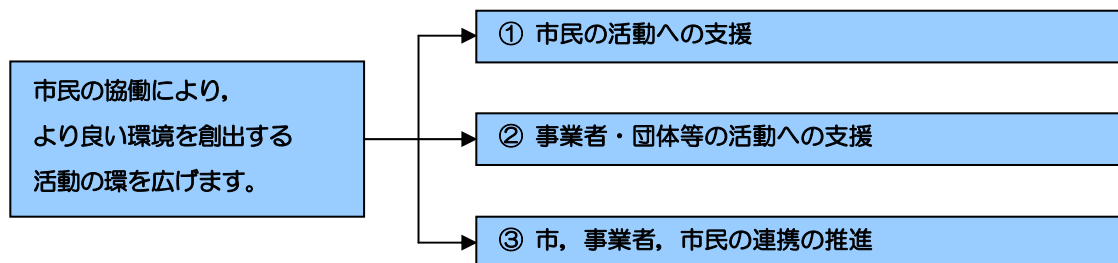
取組名	概要	担当課
環境保全意識啓発事業	自然環境保全の重要性について認識を啓発するため、自然観察会などを開催します。	環境政策課 (共:環境保全課)
取組状況		
6月 ホタル観察会(ろまんちっく村, 59人) 8月 スターウォッチング(エコパーク板戸, 58人) 水辺教室(姿川島田橋上流, 29人) 1月 スターウォッチング(エコパーク板戸, 21人)		

(5) 今後の取組

引き続き、ホームページや広報等を活用した市民への環境情報の発信を進めるとともに、環境出前講座を開催など、環境学習の場と機会の提供に積極的に取り組んでいきます。

3 環境保全活動

(1) 環境目標と施策の方向



(2) 概況

今日の環境問題の発生要因の多くは、私たちの日常生活や事業活動に伴う環境への負荷が大きく起因しています。

このため、環境問題を解決するためには、環境教育・環境学習の推進により、一人ひとりが環境に対する理解や関心を深めるとともに、さらに一歩進んで、家庭、学校、職場、地域など日常生活や事業活動の各場面において環境を守るために行動する（環境保全活動）ことが大変重要になっています。

平成16年度に実施した市政世論調査では、「市民活動に参加している」人は約1割でしたが、「今は参加していないがぜひ参加してみたい」と「今は参加していないが機会があれば参加してみたい」を合わせると約5割近くになっていました。また、現在参加している活動については、「地域社会活動」と「教育・文化・社会活動」に次いで「環境保全活動」が高くなっており、「今後参加したい活動」については、「環境保全活動」が一番高くなっていました。（次頁参照）

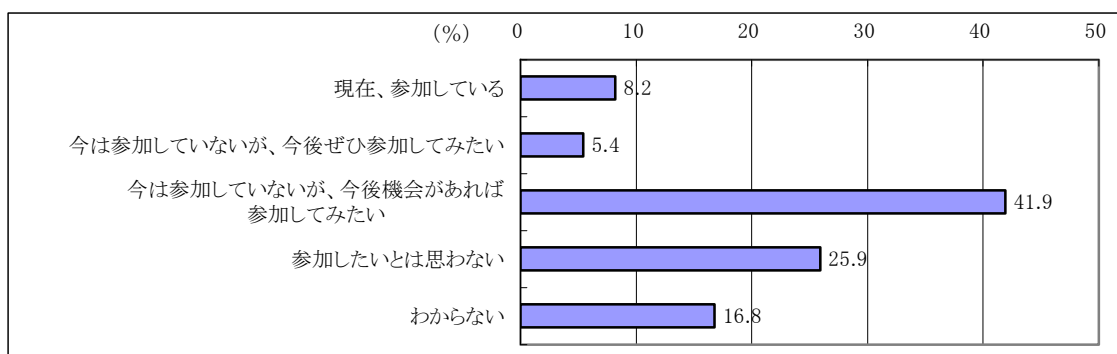
このような中、本市においては、「市民ボランティア活動保険制度」や「市民活動助成基金事業」など市民活動への支援に努めるとともに、「うつのみや環境行動フォーラム」において環境保全活動を展開しています。



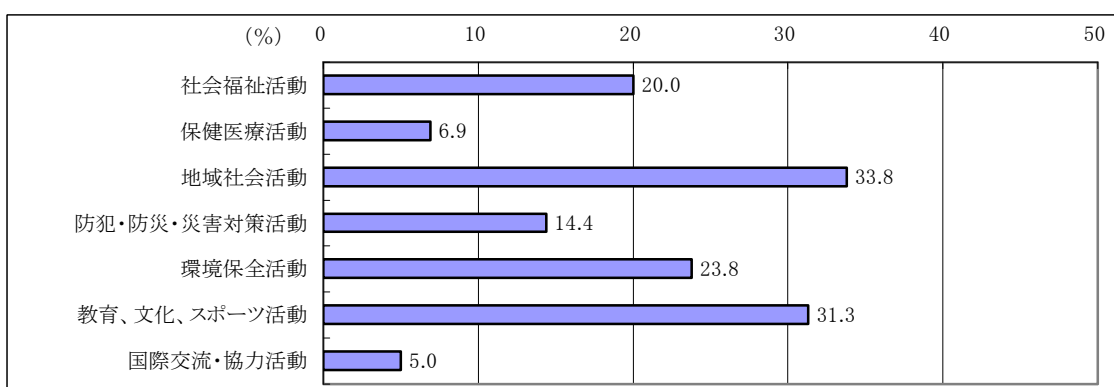
■市民活動サポートセンター

■第37回市政に関する世論調査結果より

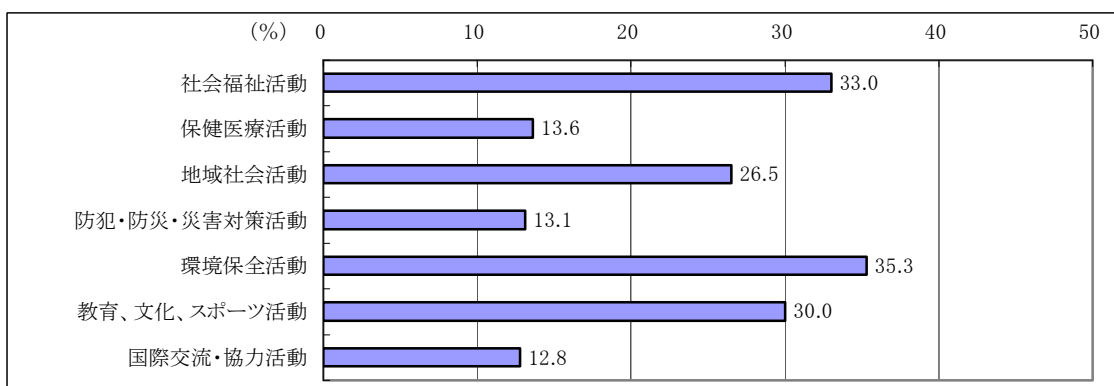
市民活動への参加状況について



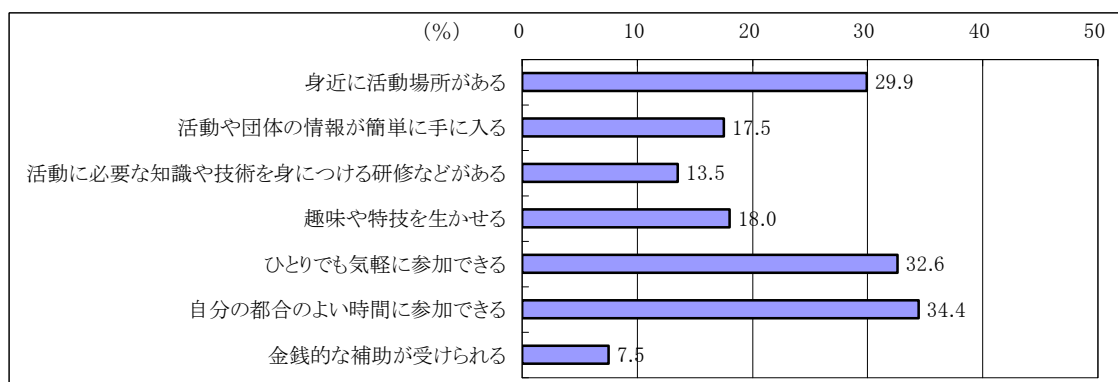
現在、参加している活動について（2つまで）



参加意向がある人の、今後参加したい活動について（2つまで）



市民活動に参加する場合の条件について（2つまで）



(3) 数値目標の達成状況

環境指標		担当課
①市民活動サポートセンターの登録団体数を増やします。		みんなでまちづくり課
13年度(基準)	269 団体	
14年度	294 団体	
15年度	334 団体	
16年度	365 団体 (環境活動団体数53)	
17年度	404 団体	
18年度	459 団体	
19年度	488 団体	
	評価	<input type="checkbox"/> 目標年度の数値を達成している <input checked="" type="checkbox"/> 目標年度に向け順調に進んでいる <input type="checkbox"/> 今後一層の努力を要する
22年度(目標)	600 団体	

(4) 環境施策の取組状況

①市民の活動への支援

取組名	概要	担当課
市民活動サポートセンターの支援	市民主体のまちづくりを進めるため、市民活動サポートセンターにおいて社会に貢献しようとする市民に対する支援を行います。	みんなでまちづくり課
取組状況		
「情報の受信・発信」 情報紙「わ・わ・わあ」の発行(6回) 「場所や機材の提供」 談話室(261件)、メールBOX(6件)、ロッカー(36件) 「活動しやすい社会環境づくり」 さぼせんまつりの開催(活動内容のPR展、フリーマーケット等) 来場(2,600人) みや市民ネットワーク(13回)、市民活動体験(釜川清掃7回)、		

取組名	概要	担当課
市民ボランティア活動保険制度	市民がボランティア等の市民活動を安心して行える社会環境をつくるため、ボランティア活動中の事故に対して、市が保険料を負担して、万が一に備えます。	みんなでまちづくり課
取組状況		
対象者	市民、市内で市民活動を行っている人	
対象活動	市内で継続的・計画的に無償で行われ、営利を目的とせず、広く公共の利益を追求した活動 (地域清掃、公園愛護、ごみステーション管理、資源回収等)	
保険内容	傷害保険(活動者本人の事故) ・賠償責任保険(活動者による第三者への過失)	
適用件数	平成15年度(11件) 平成16年度(13件) 平成17年度(11件) 平成18年度(7件) 平成19年度(3件)	

取組名	概要	担当課
市民活動助成事業	市民活動団体の自立促進と活動の活発化を図るため、市民活動団体に対して財政面からの支援を行います。	みんなでまちづくり課
取組状況		
基金概要	市からの原資として500万円を積立 市民からの寄附金と同額を、次年度に市費で上乗せ(マッチングギフト方式)	
対象団体	市内で活動し、5名以上で構成する組織で、規約・会則を定めている市民活動団体	
対象活動	市民による自主的・自発的で、営利を目的とせず、広く公共の利益を追求した活動	
助成内容	対象経費(講師謝金、会場使用料、消耗品等)の50%以内、人件費は対象外 ・スタート支援(事業を始める、又は始めて間もない団体) 1団体10万円以内(1団体1回限り) ・ステップアップ支援(結成後2年以上経過した団体) 1団体30万円以内(1団体2回迄)	
決定方法	審査会(学識経験者、公募市民等)による審査(書類、プレゼンテーション)の後、市長が決定	
交付実績	平成15年度 応募(17団体)、決定(スタート支援7団体、ステップアップ支援5団体) 平成16年度 応募(34団体)、決定(スタート支援5団体、ステップアップ支援13団体) 環境関連:エコ堆肥の会(生ごみ堆肥化事業、環境に関する講演会や畑作り) 平成17年度 応募団体(22団体)、決定(スタート支援7団体、ステップアップ支援10団体) 平成18年度 応募団体(26団体)、決定(スタート支援4団体、ステップアップ支援12団体) 平成19年度 応募団体(16団体)、決定(スタート支援6団体、ステップアップ支援6団体) 環境関連:MEAKの会(地球温暖化防止の啓発活動)	

取組名	概要	担当課
都市緑化の推進	潤いや安らぎを感じる都市環境の維持向上を図るため、市民が主体となった緑化活動に向けた緑の普及啓発や、都市緑化を進めるための仕組みや制度を検討します。	公園緑地課
取組状況		
中心市街地緑化事業	メインストリートへハンギングバスケットを設置	4路線 85箇所に設置 年3回植え替え
緑地協定制度	21地区	145.6ha
緑化ボランティア養成講座の開催	年6回の講座	受講者23名

取組名	概要	担当課
市民団体等による緑地保全の促進	(財)グリーントラストうつのみや等の市民団体による樹林地管理や森づくりなどの緑地保全活動を支援し、市民主体の緑地保全活動を推進します。	公園緑地課
取組状況		
<p>1. 保全緑地活動の支援 … 平成19年度 市保有の保全緑地 計 187,600㎡ 下記の緑地については、(財)グリーントラストうつのみやに管理業務を委託し、保全を図っている。</p> <p>(1)鶴田沼緑地(81,000㎡) ・ 昨年から新たに16,000㎡の用地を取得 ・ ハッチョウトンボの棲む鶴田沼及び近隣雑木林の保全</p> <p>(2)戸祭山緑地(106,600㎡) ・ 昨年から新たに120,200㎡の用地を取得 ・ トウキョウサンショウウオの生息地であり、昔ながらの里山や沼地の保全</p> <p>2. 市民活動等の支援 市民主体の緑地保全活動のため、グリーントラストへの委託業務として、年10回の自然環境学習活動を実施した。 また、グリーントラストによる自然環境学習の自主活動及び市民参加事業等においても、適宜、必要な情報・ノウハウの提供を行った。</p>		

②事業者、団体等の活動への支援

取組名	概要	担当課
市民活動サポートセンターの支援	市民主体のまちづくりを進めるため、市民活動サポートセンターにおいて社会に貢献しようとする市民に対する支援を行います。	みんなでまちづくり課
取組状況		
<p>「情報の受信・発信」 情報紙「わ・わ・わあ」の発行(6回) 「場所や機材の提供」 談話室(261件)、メールBOX(6件)、ロッカー(36件) 「活動しやすい社会環境づくり」 さぼせんまつりの開催(活動内容のPR展、フリーマーケット等) 来場(2,600人) みや市民ネットワーク(13回)、市民活動体験(釜川清掃7回)、</p>		

取組名	概要	担当課
市民ボランティア活動保険制度	市民がボランティア等の市民活動を安心して行える社会環境をつくるため、ボランティア活動中の事故に対して、市が保険料を負担して、万が一に備えます。	みんなでまちづくり課
取組状況		
<p>対象者 市民、市内で市民活動を行っている人 対象活動 市内で継続的・計画的に無償で行われ、営利を目的とせず、広く公共の利益を追求した活動(地域清掃、公園愛護、ごみステーション管理、資源回収等) 保険内容 傷害保険(活動者本人の事故) ・賠償責任保険(活動者による第三者への過失) 適用件数 平成15年度(11件) 平成16年度(13件) 平成17年度(11件) 平成18年度(7件) 平成19年度(3件)</p>		

取組名	概要	担当課
市民活動助成事業	市民活動団体の自立促進と活動の活発化を図るため、市民活動団体に対して財政面からの支援を行います。	みんなでまちづくり課
取組状況		
<p>基金概要 市からの原資として500万円を積立 市民からの寄附金と同額を、次年度に市費で上乗せ(マッチングギフト方式)</p> <p>対象団体 市内で活動し、5名以上で構成する組織で、規約・会則を定めている市民活動団体 対象活動 市民による自主的・自発的で、営利を目的とせず、広く公共の利益を追求した活動 助成内容 対象経費(講師謝金、会場使用料、消耗品等)の50%以内、人件費は対象外 ・スタート支援(事業を始める、又は始めて間もない団体) 1団体10万円以内(1団体1回限り) ・ステップアップ支援(結成後2年以上経過した団体) 1団体30万円以内(1団体2回迄)</p> <p>決定方法 審査会(学識経験者、公募市民等)による審査(書類、プレゼンテーション)の後、市長が決定 交付実績 平成15年度 応募(17団体)、決定(スタート支援7団体、ステップアップ支援5団体) 平成16年度 応募(34団体)、決定(スタート支援5団体、ステップアップ支援13団体) 環境関連:エコ堆肥の会(生ごみ堆肥化事業、環境に関する講演会や畑作り) 平成17年度 応募団体(22団体)、決定(スタート支援7団体、ステップアップ支援10団体) 平成18年度 応募団体(26団体)、決定(スタート支援4団体、ステップアップ支援12団体) 平成19年度 応募団体(16団体)、決定(スタート支援6団体、ステップアップ支援6団体) 環境関連:MEAKの会(地球温暖化防止の啓発活動)</p>		

③市、事業者、市民の連携の推進

取組名	概要	担当課
環境パートナーシップの形成, 促進	市, 市民, 事業者等の協力・連携を促進するために設立した「うつのみや環境行動フォーラム」を中心として他の市民団体等との相互ネットワークの形成・促進を図ります。	環境政策課
取組状況		
平成15年度 「(仮)うつのみや環境パートナーシップ会議」の設立準備会の設置, 組織内容の検討 平成16年度 「うつのみや環境行動フォーラム」の設立, プロジェクト活動の展開 平成17年度 「うつのみや環境行動フォーラム」におけるプロジェクト活動の推進, 推進体制の見直し 平成18年度 「うつのみや環境行動フォーラム」における普及啓発イベントの定期的な開催, 継続的な環境保全活動の実施 平成19年度 「うつのみや環境行動フォーラム」における普及啓発イベントの定期的な開催, 継続的な環境保全活動の実施, 環境学習センター講座運営企画等の業務委託 NPO法人格取得 ※リーディングプロジェクト「環境パートナーシップ推進プロジェクト」に記載		

取組名	概要	担当課
地域づくりの推進	市民協働によるまちづくりを進めるため, 地域の特性や資源を活かした安心して暮らせる住みよい地域づくりや, 身近な問題を地域で解決する様々な地域活動を支援するなど, 地域コミュニティの形成を推進します。	みんなでまちづくり課
取組状況		
平成15年度 「地域づくり組織の育成支援」 自治会連合会単位(37地区)で地域まちづくり組織を結成 「地域づくり拠点施設の整備」 市街地部21地区のコミュニティセンターの管理を地域組織へ委託 「地域づくり活動の推進」 リサイクル運動(御幸) クリーンウォーキング大会(瑞穂野) 地域文化財めぐり(国本)など 平成16年度 「地域まちづくり組織への支援」 協働意識の醸成や地域人材育成のためのまちづくり研修会を実施 財政的な支援として「協働の地域づくり支援事業補助金」を交付 「地域づくり活動の推進」 菜の花いっぱいのもちづくり(東) 駅東公園ボランティア清掃(今泉) 鬼怒川クリーン大作戦, クリーンウォーキング大会(瑞穂野) など 平成17年度 「地域まちづくりへ組織の支援」 まちづくりの考え方や具体的な進め方を学習 体験する機会を提供し, 地域まちづくりのリーダー的人材を育成 「地域づくり活動の推進」 地域の特色づくりや地域課題の解決に向けた事業の展開のため, 「地域づくり支援事業補助金」を交付 平成18年度 「地域まちづくり組織の支援」 まちづくりに係る情報の共有化を図るとともに, 各地域の連携を促進することを目的に 「地域まちづくり組織連絡会議」を設立 「地域づくり活動の推進」 地域課題解決などに柔軟に対応できるよう, 地域に交付していた補助金のうち, 4つを一本化 平成19年度 「地域まちづくり組織連絡会議」 年4回会議を開催し, 活動情報の共有や意見交換などを行う 「まちづくり講習会の開催」 まちづくり活動の担い手育成のため, 活動に活用できる手法等の学習機会を提供		

(5) 今後の取組

引き続き「市民ボランティア活動保険制度」や「市民活動助成基金事業」など市民活動への支援を行うとともに、「うつのみや環境行動フォーラム」における環境保全活動を進めていきます。

環境基本計画の取組状況<総括>

- ・環境施策及び数値目標は、4つの基本目標の柱に沿って一定の成果を達成しており、目標年度に向けて概ね順調に進んでいると考えられます。
- ・しかしながら、リサイクル率や不法投棄発生件数など数値目標の進捗が遅れている項目が見られており、これらの目標を達成するためには、行政はもとより市民や事業者の主体的・積極的な参加を促進することが必要不可欠です。
- ・このようなことから、関係各課においては、今後とも各施策・事業について「環境」及び「市民協働」の視点を組み入れながら、より一層積極的に取り組むことにより、計画の効果的な推進を図る必要があります。

「数値目標」の達成状況（全体）

評価区分	項目数	
◎ 目標年度の数値を達成している	13	76%
○ 目標年度に向け順調に進んでいる	21	
▲ 今後一層の努力を要する	11	
合 計	45	

「数値目標」の達成状況（基本目標別）

- ◆基本目標1 良好で安全な環境が確保され、快適で健やかに暮らせるまち
(大気環境, 水・土壌環境, その他生活環境)

評価区分	項目数	
◎ 目標年度の数値を達成している	11	82%
○ 目標年度に向け順調に進んでいる	3	
▲ 今後一層の努力を要する	3	
合 計	17	

- ◆基本目標2 資源やエネルギーを大切にし、地球にやさしい循環型社会を実現するまち
(廃棄物, 資源・エネルギー, 水資源, 地球環境問題)

評価区分	項目数	
◎ 目標年度の数値を達成している	1	60%
○ 目標年度に向け順調に進んでいる	5	
▲ 今後一層の努力を要する	4	
合 計	10	

◆基本目標3 多様で豊かな自然の恵みを感じ、水と緑と人が共生する魅力あるまち
 (自然環境, 身近な自然, 自然の公益的機能, 歴史・文化環境)

評価区分	項目数	
◎ 目標年度の数値を達成している	1	86%
○ 目標年度に向け順調に進んでいる	11	
▲ 今後一層の努力を要する	2	
合 計	14	

◆基本目標4 市民みんなの協働でつくる人と環境にやさしいまち
 (環境配慮対策, 環境教育・環境学習, 環境保全活動)

評価区分	項目数	
◎ 目標年度の数値を達成している	0	50%
○ 目標年度に向け順調に進んでいる	2	
▲ 今後一層の努力を要する	2	
合 計	4	

※算出方法：(◎+○の合計項目数) ÷ 合計項目数 × 100

リーディングプロジェクトの取組状況

I 環境マネジメントシステム推進プロジェクト

(1) 市におけるISO14001の推進

①取組状況

平成13年12月	市役所本庁舎で認証取得（県内自治体3番目，本庁舎対象は初）
平成14年12月	全地区市民センター（11箇所）で認証取得
平成15年12月	東勤労青少年ホーム，クリーンパーク茂原，環境学習センター 公営事業所，冒険活動センター，図書館（2箇所）で認証取得
平成16年 8月	南・北清掃センター，東横田清掃工場，クリーンセンターで自主的 な取組を開始
12月	認証取得施設において認証更新登録
平成17年 8月	保健所，上下水道局庁舎等19施設で自主的な取組を開始
12月	自己適合宣言
平成18年 8月	保育園など市が管理する残りの全施設で自主的な取組を開始
平成19年 8月	地域自治センター等17施設で自主的な取組を開始

②環境目標の達成状況

取組の柱		達成状況	
環境目標			
1. 環境保全事業の推進			
・環境基本計画に基づく環境施策 （緑地保全，廃棄物対策，生活排水処理対策等）		107目標 ⇒ 達成	
2. 環境配慮行動の推進			
数値目標設定項目	目標(平成19年度) ※平成17年度比	実績(平成19年度) ※平成17年度比	二酸化炭素 排出量
電気使用量	増加させない	△0.1%	平成17年度に比 べて2,512t (6.7%)の減少 ※原油換算でド ラム缶約4,600 本分に相当 ※一般家庭約 360世帯が排出 する量に相当
庁舎燃料使用量	△0.1%	△21.7%	
車両燃料使用量	△0.5%	△3.8%	
用紙使用量	増加させない	3.1%	
水道使用量	増加させない	△3.0%	
廃棄物排出量	増加させない	8.2%	
廃棄物リサイクル率	60.5%	64.2%	
低公害車の導入率	100%	100%	
環境配慮型物品の導入割合	85.5%以上	87.3%	
3. 許認可事業等における環境配慮の推進			
・事業者への環境保全対策に関する指導の徹底		4目標 ⇒ 達成	
4. 公共工事における環境配慮の推進			
・自然環境への配慮や建築副産物のリサイクル等の実施		5目標 ⇒ 達成	
5. イベント事業における環境配慮の推進			
・イベントから出る廃棄物の発生抑制，減量化 ・来場者，スタッフの環境保全意識の啓発 等		9目標 ⇒ 達成	

※取組効果を事務経費に換算すると，平成17年度に比べて約84,000千円の節減となっています。

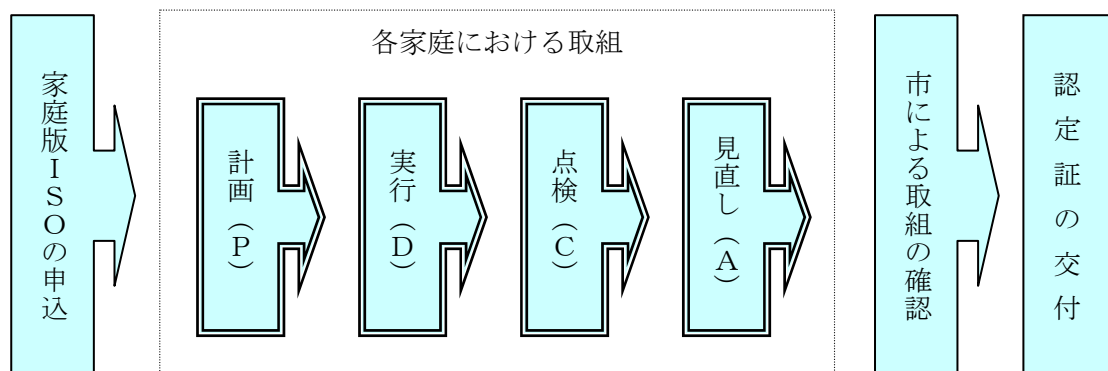
③今後の取組

引き続き、自己適合宣言を維持するとともに、環境基本計画を主眼においたシステムの運用及び取組の実効性を高めるシステムの在り方を検討します。

(2) 市民の環境配慮行動の誘導・促進

「家庭版環境ISO（みやエコファミリー）認定制度」の推進

①制度の概要



②取組状況

平成15年度	制度創設，201家庭を認定 各家庭の取組結果をまとめた「参加者の声」を発行
平成16年度	122家庭を認定（累計323家庭を認定） 環境出前講座や広報うつのみや特集号による制度の周知・啓発を実施 「家庭版環境ISOハンドブック」の発行
平成17年度	76家庭を認定（累計399家庭を認定） 環境出前講座やイベントによる周知・啓発の実施
平成18年度	99家庭を認定（累計498家庭を認定） 環境出前講座やイベントによる周知・啓発の実施
平成19年度	149家庭を認定（累計647家庭を認定） 環境出前講座やイベントによる周知・啓発の実施

(※数値は旧宇都宮市対象)

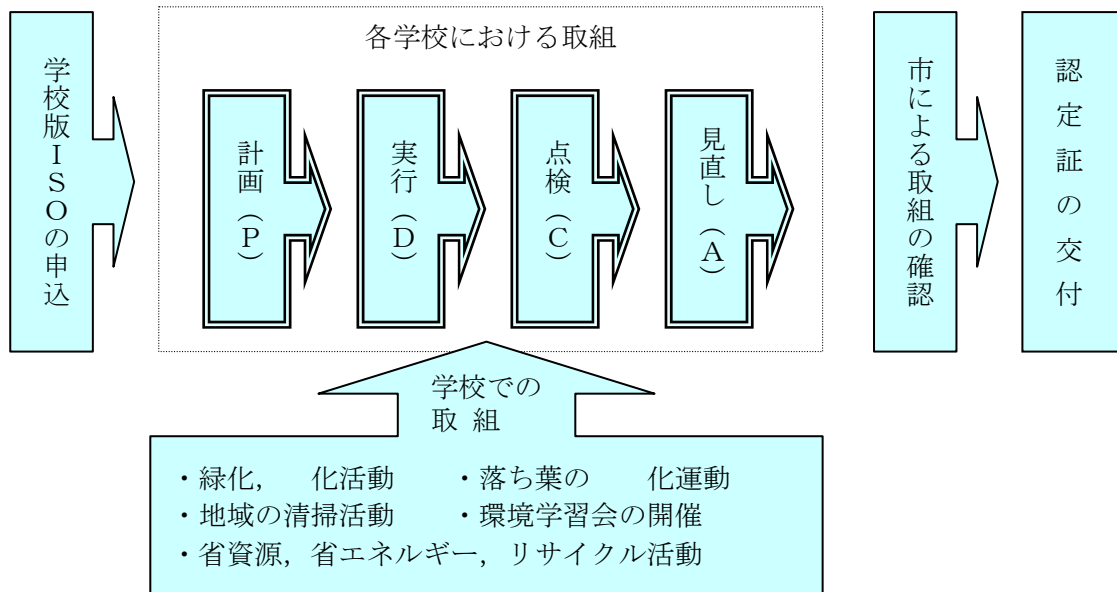
③今後の取組

「地球温暖化対策地域推進計画」における家庭部門での温室効果ガスを抑制するための主要な取組として、更なる取組世帯の拡大を目指し、イベント、広報紙、出前講座等による周知啓発を強化していくとともに、認定者への特典付与に関する協力店の拡大や特典内容の充実で、より魅力的な仕組みをつくり、一層の市域全体への広がりを推進していきます。

(3) 学齢期の環境配慮行動の誘導促進

「学校版環境ISO認定制度」の推進

①制度の概要



②取組状況

平成14年度	制度創設 (3校での取組)
平成15年度	41校 (学校番号 数校) の取組状況を確認, 認定 (小学校30, 中学校11) 「学校版環境ISO交流会」の開催 (宮中 小, 横川中, 宇工高) 参加校の取組結果をまとめた『参加校の声』を発行
平成16年度	39校 (学校番号 数校) の取組状況を確認, 認定 (小学校29, 中学校10) 「学校版環境ISOハンドブック」の発行
平成17・18年度	年で取組状況を確認, 認定更新
平成19年度	年で取組状況を確認, 認定更新 13校 (旧上河内・河内町の小中学校) の取組状況を確認, 認定 「学校版環境ISO通信 (みやエコっ子つうしん)」の発行



田 周辺の平地林の落ち葉清掃 (宮の原中)



トープ作り (宮の原小)

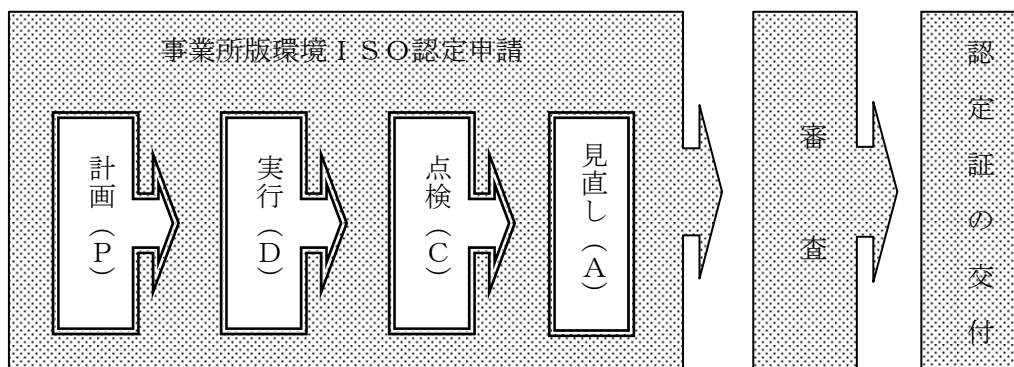
③今後の取組

定 した 制度の自立的活動を促進するための支援として, 学校版環境ISO通信 (みやエコっ子つうしん) の定期的な発行や学校 間による助言等を実施するとともに, 学校での取組が家庭での環境配慮行動へと発展するための方策を検討していきます。

(4) 事業者の環境配慮行動の誘導・促進

「事業所版環境ISO認定制度」の検討

①制度の概要（イメージ）



②取組状況

- 平成14年度 ISO14001 認証取得 の設置, 認証取得ガイドブックの発行
中小事業者へのアンケート調査の実施 (市内1,000社)
・約3割の事業者が市 自の認定制度への参加意向を回
- 平成15年度 制度創設に向けた商工会議所や学識経験者との協議
- 平成16年度
- ル事業の実施
- 平成17年度 「事業所版環境ISO (ECOうつのみや21) 制度」の運用開始
(6事業所を認定)
- 平成18年度 「事業所版環境ISO (ECOうつのみや21) 制度」の運用
(6事業所を認定, 累計12事業所)
入 参加資 での加点を付与
- 平成19年度 「事業所版環境ISO (ECOうつのみや21) 制度」の運用
(4事業所を認定, 累計16事業所)

③今後の取組

引き続き、商工会議所との協働により制度の普及促進を図るとともに、認定事業者に対する更なるインセンティブの付与策を検討するなど、効果的・効率的な普及促進を図っていきます。

Ⅱ 環境パートナーシップ推進プロジェクト

(1) 環境情報の整備と提供

①取組状況

市の環境情報（環境の現状、イベント情報、生活情報等）について、ホームページや広報紙により市民に分かりやすく、利用しやすい形での情報提供や、うつのみや環境行動フォーラムのホームページ「U-net」とのネットワーク化による広がりのある情報提供を行いました。

②今後の取組

最新の情報を提供していくため、うつのみや環境行動フォーラムと連携し、ホームページを常に更新するとともに、市民ニーズを的確に把握し、様々な機会を捉えた情報の提供など、より充実した内容となるよう努めていきます。

(2) 「うつのみや環境行動フォーラム」の設立

①取組状況

平成15年度	市民、事業者、市の協働による「設立準備会」の運営、会員募集開始
平成16年度	「うつのみや環境行動フォーラム」を設立
平成16～18年度	市に事務局機能を置きフォーラムの運営を支援
平成19年度	環境学習センター講座企画運営等業務の委託

会員数 個人 114, 団体 41 (平成20年3月31日現在)

【フォーラムでの取組状況】

平成16年度	設立総会の開催（6月5日）、各プロジェクト活動開始 （環境情報交流PJ、環境学習促進PJ、エコモデルショップPJ） 会報誌の発行、環境フェアへの出展（活動紹介、会員募集・交流等） 「宇都宮の環境（平成15年度環境状況報告書）」に関する意見書を市へ提出
平成17年度	定期総会の開催（5月14日）、各プロジェクト活動開始 （環境情報交流PJ、環境学習促進PJ、エコモデルショップPJ） 会報誌の発行（4回） 環境フェアへの出展（活動紹介、会員募集等） 市民環境講座の開催（2回） 風力発電施設などの見学会、市街地での生きものマップづくり 「宇都宮の環境（平成16年度環境状況報告書）」に関する意見書を市へ提出
平成18年度	定期総会の開催（4月15日）、会報誌の発行（4回） 4つのタスクチームによる環境活動 環境フェアへの出展（活動紹介、会員募集） 普及啓発イベントの開催（10回） 「宇都宮の環境（平成17年度環境状況報告書）」に関する意見書を市へ提出

平成19年度 定期総会の開催（4月14日）、会報誌の発行（4回）
 ホームページ公開、臨時総会・NPO法人設立総会（12月18日）
 普及啓発イベントの開催（13回）、4つのタスクチームによる環境活動、
 環境イベント（環境フェアほか3）への出展（活動紹介、会員募集等）、
 環境学習センター講座企画運営等業務受託
 「宇都宮の環境（平成18年度環境状況報告書）」に関する意見書を市へ提出

環境行動フォーラムの主な活動

	普及啓発活動	環境保全活動	組織基盤の強化
活動方針	市民の環境学習や環境保全活動に対する意識が高まり、宇都宮市全体に環境活動の環が広がり、主体的な活動へとつなげていくために、誰もが気軽に体験・学習できる環境活動等への参加の機会を提供していきます。	会員の自主性を尊重し、より多くの市民、事業者が参加し、より活発な環境保全活動を展開できるような魅力的な取組を実践できる活動の場を提供していきます。	さまざまな活動の機会を提供することで、会員が正しい知識を習得し、今後の環境活動を担っていく人材を育成し、組織の基盤強化を図ります。
取組状況	普及啓発のイベントを、毎月1回程度開催したところ、その多くのイベントで募集定員を上回るほどの参加があり、一定レベルの成果を得られたものと考えられます。	4つのタスクチームのうち「里山保全活動チーム」は継続して活動を行ってきましたが、その他のタスクチームについては、一般会員が参加する機会があまりなかったため、活動メンバーが固定化し、活動の広がりがあり見られませんでした。	フォーラム会員が講師を務める市の講座「うつのみや環境大学」を、何人もの会員が受講し知識の習得に努めたほか、受講生同士の交流が生れるなど、組織の基盤強化につながる活動が展開されました。

※環境U-net のアドレス <http://www.u-net2004.com/~forum/>



紙のリサイクル工場見学



野鳥観察会



落ち葉さらい

②今後の取組

平成20年4月にNPO法人として成立したことから、更なる団体運営の透明性の向上、組織基盤の強化、信頼性の向上等を図る必要があります、こうした取組に必要な支援を行っていきます。

(3) 環境学習の推進

①取組状況

環境問題への市民意識の高揚を図るため、市民等からの要請に応じて市の職員を派遣する環境出前講座の実施や「もったいない」をテーマとした絵本『ぼくはエコねこ』を作製し市内の保育園、幼稚園に通う5歳児を対象に配布しました。また、環境学習センターの主催による環境学習講座を実施するとともに、環境学習情報の提供を行いました。

【環境出前講座】

- ・メニュー
 - 「CO₂ダイエット」
 - 「うつのみやの環境」
 - 「地球温暖化の問題を考えよう」
 - 「水のよごれ」
 - 「空気のよごれ」
 - 「ちょっとわけあり，買い物ゲーム！」(右写真)
 - 「不法投棄の未然防止」



・実績

- 平成15年度 横川西小，(株)日本ランコなど延べ16回(1,251人)
- 平成16年度 旭中，北生涯学習センターなど延べ46回(2,713人)
- 平成17年度 五代小，富士見が丘生活学校など延べ48回(1,834人)
- 平成18年度 御幸小，ユネスコ子ども教室など延べ43回(1,788人)
- 平成19年度 城山中，姿川まちづくり協議会など延べ44回(1,975人)

【環境学習講座】

- | | | | |
|--------|--------------|--------|--------------|
| 平成13年度 | 72回(1,125人) | 平成17年度 | 144回(2,283人) |
| 平成14年度 | 123回(1,978人) | 平成18年度 | 160回(2,530人) |
| 平成15年度 | 139回(2,247人) | 平成19年度 | 206回(3,268人) |
| 平成16年度 | 129回(1,918人) | | |



環境学習センター



再生品の展示・提供

②今後の取組

市民の学習意欲に対応した講座メニューの充実を図り，市民ニーズや受講者の広がり期待できる魅力的で効果的な環境学習事業を展開していくとともに，特に幼児期を対象とする新たな取組を検討していきます。また，平成19年度に引き続き，環境学習センターで行っている講座や施設見学案内などの業務を「うつのみや環境行動フォーラム」へ委託し，さらに環境に関する専門性や講座運営のノウハウを活かした事業を実施していきます。

「宇都宮の環境（平成19年度環境状況報告書）」に関するご意見をお寄せください。

※1 募集期間 平成20年9月1日～平成20年10月31日

※2 団体・法人として意見を提出する場合は、その所在地、名称、代表者氏名を記入下さい。

※3 意見の結果等については、後日市のホームページで公表します。（個人名や団体・法人名は公表しません。）

(住所)

(氏名)

(年齢)

才 (性別) 男・女

1. 本書の内容について、どのようにお感じになりましたか。

①見やすさ	1 満足	2 少し満足	3 どちらでもない	4 少し不満	5 不満
②わかりやすさ	1 満足	2 少し満足	3 どちらでもない	4 少し不満	5 不満
③情報の質・量	1 満足	2 少し満足	3 どちらでもない	4 少し不満	5 不満

(理由)

2. 本書でお知りになった本市の環境の現状について、どのようにお感じになりましたか。

(1 満足 2 少し満足 3 どちらでもない 4 少し不満 5 不満)

①大気（空気のきれいさ）	1	2	3	4	5
②水・土壌（川の水や土のきれいさ）	1	2	3	4	5
③生活環境（騒音や振動，悪臭が気にならない，生活環境の穏やかさ）	1	2	3	4	5
④廃棄物（ごみの分別や減量化，リサイクルや適正処分の取組）	1	2	3	4	5
⑤資源・エネルギー（省資源や省エネルギー，新エネルギー利用の取組）	1	2	3	4	5
⑥水資源（節水や水の循環利用など貴重な水資源の有効利用の取組）	1	2	3	4	5
⑦地球環境問題（地球温暖化対策など地球環境問題への取組）	1	2	3	4	5
⑧自然環境（森林，河川，野生動植物など自然の豊かさ）	1	2	3	4	5
⑨身近な自然（里山や水辺，公園や街路樹など身近な自然の豊かさ）	1	2	3	4	5
⑩自然の公益的機能（公益的機能の為の森林・田畑・河川の適正な管理）	1	2	3	4	5
⑪歴史・文化（歴史・文化遺産の保全や郷土意識醸成の取組）	1	2	3	4	5
⑫環境配慮対策（良好な町なみ景観の形成，ポイ捨て等のマナーの良さ等）	1	2	3	4	5
⑬環境教育・環境学習（環境に関する教育や学習の取組）	1	2	3	4	5
⑭環境保全活動（環境を守るための市民や事業者，団体等の活動）	1	2	3	4	5

(理由)

切
り
取
り

3. 本書でお知りになった本市の環境への取組について、どのようにお感じになりましたか。

1 評価できる 2 多少評価できる 3 どちらでもない 4 あまり評価できない 5 評価できない

(理由)

.....

.....

.....

.....

4. その他のご意見

ページ	意見内容

(提出先) 〒320-8540 宇都宮市旭1丁目1番5号 宇都宮市 環境部 環境政策課
fax : 028 - 632 - 3316 E-mail : u0715@city.utsunomiya.tochigi.jp

宇都宮の環境（平成 19 年度環境状況報告書）

発行年月日 平成 20 年 9 月
発行 〒 3 2 0 - 8 5 4 0
宇都宮市旭 1 丁目 1 番 5 号
宇都宮市 環境部 環境政策課
電話 0 2 8 - 6 3 2 - 2 4 0 3
fax 0 2 8 - 6 3 2 - 3 3 1 6
E-mail u0715@city.utsunomiya.tochigi.jp

この冊子は再生紙を使用しています。